

海岸防災林の機能解明

キーワード 海岸防災林, クロマツ, 砂草



研究概要

海岸林は、古くから沿岸部の住民の財産や生活を守るため植林されてきました。その機能は、飛砂や飛塩の被害の抑制など多岐に及んでいます。

2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震によって発生した大津波は、太平洋側沿岸に、多大な被害を与えました。海岸林だけで津波を止めることはできませんでしたが、漂流物を捕捉したり、津波の到達を遅らせたり、一定の評価が得られています。

これまで、防災林の機能解明は防風効果が主でしたが、日本海側には、秋田県沖の海域に「地震空白域」があり、太平洋側の被災状況より、庄内海岸の防災林の機能の再検討を行っています。



冬期間の季節風から内陸部を守ったクロマツ林
(飛塩の付着より褐変)



日本の白砂青松 100 選に選ばれた
庄内海岸砂防林

柳原 敦 准教授 YANAGIHARA, Atsushi

専門分野：砂防学・海岸砂防学
E-mail : ayanagi@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

